

全建発第29～128号  
平成29年 8月 7日

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 大 石 久 和

印省略

### 第635回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等の自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性向上）など、時代の要請に応えた施策の展開を図っていくことが重要となっており、国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第635回建設技術講習会では、都市部門では最新の都市行政施策、地方創生・地域活性化の推進、コンパクトシティ、歴史・景観まちづくり、地域交通、都市防災などについて、河川部門では最新の河川行政施策、大規模氾濫に対する治水対策、地震・風水害対策、河川の維持管理、河川環境の保全、河川等のストック効果、土砂災害対策などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久和  
印省略

## 第635回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成29年10月11日（水）～13日（金）、青森市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、都市部門では最新の都市行政施策、地方創生・地域活性化の推進、コンパクトシティ、歴史・景観まちづくり、地域交通、都市防災などについて、河川部門では最新の河川行政施策、大規模氾濫に対する治水対策、地震・風水害対策、河川の維持管理、河川環境の保全、河川等のストック効果、土砂災害対策などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は青森県・青森市の共催（予定）、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
青森県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
青森県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

\*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満の正会員及び地元割引価格（2,000円）で参加の場合、取り消しはできません

※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,500円〔うち昼食代1,200円〕

※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数「635」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成29年9月22日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成29年9月29日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成29年10月6日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、「全建CPD（継続教育）制度」及び「CPDS」の認定講習会です。

【聴講／現場】全建：8単位／3単位、CPDS：（未定）／3ユニット

講習会情報については、全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

## 第635回建設技術講習会(都市行政の課題・河川行政の課題)日程

～都市行政及び河川行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組み事例などを学ぶ～

(都市) 最新の都市行政施策、地方創生・地域活性化の推進、コンパクトシティ、歴史・景観まちづくり、地域交通、都市防災 など  
 (河川) 最新の河川行政施策、河川行政における新技術活用の取り組み、大規模氾濫に対する治水対策、地震・風水害対策、河川の維持管理、河川環境の保全、河川等のストック効果、土砂災害対策 など

会場 …… 【合同／(2日)都市】リンクステーションホール青森(大会議室)  
 【(2日)河川】 ” (中会議室)  
 〒030-6812 青森市堤町1-41 ☎017-773-7300(代)

(1日目) 開場11:40		平成29年10月11日(水)【合同】大会議室		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	青森県知事 青森市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	三村 申吾 小野寺 晃彦 中嶋 章雅	
13:00 }	まち・ひと・しごと創生のための都市行政の課題	京都府立大学 副学長	宗田 好史	
14:10 }	河川法改正から20年の歩み	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官	林 雄一朗	
15:20 }	【地域事業の紹介①】 青森県庁舎耐震・長寿命化改修工事について	青森県総務部行政経営管理課 総括主幹(GM)	駒井 裕民	
15:50 }	【地域事業の紹介②】 青森県における都市公園について ～観光・インバウンドと民間活用で賑わう公園を目指して～	青森県県土整備部都市計画課 主幹	浅利 洋信	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (17:30～19:00(予定))		わいん倶楽部 ☎017-721-4422 (さくら野百貨店横 協働ビル2階)		
(2日目) 開場 9:00		10月12日(木)【都市部門】大会議室		(敬称略)
9:40 }	立地適正化計画制度によるコンパクトなまちづくり ～コンパクト・プラス・ネットワークの形成～	国土交通省都市局都市計画課 課長補佐	山田 大輔	
10:50 }	地域交通とまちづくりについて	国土交通省都市局街路交通施設課企画室 課長補佐	田賀 雅宏	
13:00 }	都市の防災・減災と復興事前準備について	国土交通省都市局都市安全課 都市防災対策企画室 課長補佐	島村 泰彰	
14:10 }	官民連携によるエリアマネジメント等支援の 取り組みについて	国土交通省都市局まちづくり推進課 企画専門官	高峯 聡一郎	
15:20 }	歴史・景観まちづくりについて	国土交通省都市局公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室 課長補佐	富所 弘充	
16:20 }	閉会のあいさつ	青森県建設技術協会 会長 (青森県県土整備部理事)	新井田 浩	
(2日目) 開場 9:00		10月12日(木)【河川部門】中会議室		(敬称略)
9:40 }	河川行政の最新の動向について	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官	林 雄一朗	
10:50 }	河川管理の今後の方向性について	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室 室長	齋藤 博之	
13:00 }	河川情報(川の防災情報)について	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川情報企画室 室長	佐藤 寿延	
14:10 }	砂防行政に関する最近の話題	国土交通省水管理・国土保全局砂防計画課 砂防計画調整官	草野 慎一	
15:20 }	水辺とまちの未来創造について	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川環境保全調整官	奥田 晃久	
16:20 }	閉会のあいさつ	青森市建設技術協会 会長 (青森市環境部長)	小松 文雄	
(3日目) 集合 8:00～		10月13日(金)【現場研修】		

### 青森県観光物産館アスパム〔観光バス駐車場〕(8:30)出発

- 弘前城石垣修理事業(下車説明) → 青森港湾環境整備(浜町)事業(下車説明)
- 昼食(弘前市内) → 新青森県総合運動公園(陸上競技場新築工事)(下車説明)
- 横内川多目的遊水地(下車説明) → 新青森駅(15:30)／青森空港(16:00)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS認定プログラム 【聴講/現場】全建：8単位/3単位、CPDS：(未定)/3ユニット



## 第635回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. 弘前城石垣修理事業

弘前城は、慶長16年（1611）に2代藩主津軽信枚によって築かれた津軽藩主代々の居城で、面積約492,000㎡を有し、本丸、二の丸、三の丸、四の丸、北の郭、西の郭の六郭よりなり三重の濠と土塁でめぐらされた城郭です。

現在は弘前公園として多くの市民や観光客に親しまれ、城跡には、天守をはじめ隅櫓3棟、城門5棟の建造物が残されており、いずれも国の重要文化財に指定されています。しかしながら、築城400年が経ち、大きな地震が発生した場合、本丸の石垣東面において崩落の危険性が指摘されていました。そこで弘前市では、弘前城跡整備計画を策定し、弘前公園の老朽化した橋の架け替え、園路舗装のほか、計画の大きな柱となる本丸の石垣修復を行うこととしました。石垣の修復については、平成26年度より石垣の修理に着手し、平成25年度から順次、整備を進め、天守を移動させて石垣を修理する予定で、工事期間が約20年を要する大規模事業となっています。

..... 弘前市下白銀町



### 2. 青森港港湾環境整備（浜町）事業

青森港は、本州と北海道を結ぶフェリー航路が就航する重要な物流拠点として、また東北最大のクルーズ拠点として発展しており、先の東日本大震災時には、緊急物資輸送等で大きな役割を果たしました。青森港本港地区では港湾環境整備事業により、雪処理機能を備えた親水緑地の整備をしており、親水・にぎわい空間を創出し、地域住民が集える憩いの場を提供します。現在、栈橋上・下部工が完成し、供用開始に向けて、残りの栈橋舗装、防護柵、照明灯、階段護岸及び緑地整備等の工事を行っています。

..... 青森市本町地先



### 3. 新青森県総合運動公園（陸上競技場新築工事）

県有体育施設のうち、『陸上競技場』が昭和41年の竣工から築45年を超え、老朽化が著しい状況にあるため、新青森県総合運動公園内に移転し、新築することとなりました。整備済みの既存施設との一体的な利用が可能となり、国体等各種大会やプロスポーツなど様々な競技での利用や合宿所を利用した選手強化策の展開等が円滑に進められ、更なるスポーツ振興が期待されます。

新たな陸上競技場は①競技意識を高める、②スタンドでの躍動感、③フレキシブルな大会運営、④地球にやさしいみんなのスタジアム、⑤安心、安全の5つのコンセプトに新築することとなりました。新しい競技場は、約20,000人を収容できる地下1階、地上4階建てとなります。平成30年12月の完成を目指し事業を実施しています。

..... 青森市大字宮田



### 4. 横内川多目的遊水池

横内川多目的遊水池は、青森市街地を流れる二級河川堤川下流部の治水安全度の向上を図るため、昭和59年度に着手し平成15年度に完成した計画規模1/100、利用可能面積約43ha、容量約2,200千㎡の遊水池として県内で2番目に整備されました。

河川が増水したときに一時的に洪水を溜める洪水調節施設としてだけでなく、教育・福祉・県土整備に係わる行政機関や、スポーツ・レクリエーションの拠点として多目的に利用されており、青森市により整備されたスポーツ公園や遊具広場は年間約10万人に利用されています。

..... 青森市大字幸畑字唐崎



## 第635回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には青森市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄  
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

### 斡旋する宿舍名、宿泊料

平成29年10月10日(火), 11日(水), 12日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舍名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
青森ワシントンホテル 青森市本町2-1-26 TEL017-775-7111	シングル	50名	8,500円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舍が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

### 案内図



青森駅より講習会会場 (リンクステーションホール青森) まで

東口市営バス2番乗り場「古川または新町経由」に乗車、「文化会館前」下車 (約10分 180円)



## 第635回建設技術講習会に参加の皆様へ！

### 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

**日時**：平成29年10月11日(水) 17:30～19:00(予定)  
(第635回建設技術講習会 1日目講義終了後)

**場所**：さくら野百貨店横 協働社ビル2階「わいん倶楽部」(予定)  
※開催場所が変更になる場合がありますので、当日ご確認ください。

**会費**：2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



#### 【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- |                                |          |
|--------------------------------|----------|
| ・京都府立大学 副学長                    | 宗田 好史 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官   | 林 雄一郎 講師 |
| ・国土交通省都市局都市計画課 課長補佐            | 山田 大輔 講師 |
| ・国土交通省都市局街路交通施設課企画室 課長補佐       | 田賀 雅宏 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局河川環境課河川保全企画室 室長 | 齋藤 博之 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川環境保全調整官 | 奥田 晃久 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
  - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
  - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
  - ①講師との交流
  - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

平成29年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 \_\_\_\_\_  
(特別・賛助会員名、会社名)

### 第635回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		(非会員)	会員	正会員 30歳未満	都市	河川			予約日に○を記入して下さい		
									10月10日	11日	12日	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
<b>聴講料</b> ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)								<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             ↑              現場研修の昼食は不要の申し出はできません※           </div>		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		
<b>現場研修料</b> 名×7,500円＝ 円												
計								円				

↓全建に振込

#### 【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

#### 【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

#### 【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、30歳未満の正会員及び地元割引価格で参加の場合、キャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

#### 【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

#### 【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。